

伝統を継承しつつ、現代のベーシストが求めるモダンなサウンドと機能を実現

Ampeg ベースアンプ・ヘッド&マッチング・キャビネット 『Venture』シリーズ

- 10月25日（水）発売 -

株式会社ヤマハミュージックジャパンは、ヤマハ株式会社の100%子会社である Yamaha Guitar Group, Inc.※が所有するベースアンプブランド Ampeg（アンペグ）の新製品として、ベースアンプ・ヘッドとマッチング・キャビネット『Venture』シリーズを10月25日（水）から発売します。



Ampeg『Venture』シリーズ

このたび発売するベースアンプ・ヘッドとマッチング・キャビネット『Venture』シリーズは、Ampegブランドの伝統あるサウンドを継承しつつ、現代のベーシストが求めるモダンなサウンドと機能を備えるとともに、軽量化による機動性も実現した新シリーズです。出力の異なるアンプ・ヘッド3品番と、許容入力やスピーカーの口径などが異なるキャビネット5品番をラインアップしました。アンプ・ヘッドは往年の名機「SVT」と「B15」のボイスングを選択可能なSGTオーバードライブ・サーキットや伝統的な3バンドイコライザー（EQ）が唯一無二のAmpegサウンドを生み出し、音作りにこだわるベーシストの思いに応えます。卓越したパフォーマンス性と機能性は自宅での練習からステージでの演奏といった幅広い空間・シーンにフィットします。

※Yamaha Guitar Group, Inc.: ギター関連製品の企画・開発・販売を行うヤマハ株式会社の100%子会社。米国本社。

<概要>

1. 伝統とモダンを兼ね備えたパワフルな Ampeg サウンドと、直感的に操作できるコントロール性
2. 幅広い用途に対応する充実した入出力端子
3. シーンに合わせて選べるバラエティ豊かなキャビネット

品名	品番	希望小売価格（税込）	発売日
Ampeg ベースアンプ・ヘッド	Venture V3	94,600 円	10月25日（金）
	Venture V7	未定	2024年春予定
	Venture V12	189,200 円	
Ampeg マッチング・キャビネット	VB-112	143,000 円	10月25日（金）
	VB-115	162,800 円	
	VB-210	172,700 円	
	VB-212	210,100 円	
	VB-410	239,800 円	

<主な特長>

1. 伝統とモダンを兼ね備えたパワフルな Ampeg サウンドと、直感的に操作できるコントロール性

ベースアンプ・ヘッドの『Venture V3』『Venture V7』『Venture V12』はクラスD パワーアンプにより、その重量はそれぞれ 1.8kg、3.1kg、3.8kg と軽量化を実現するとともに、出力は 300W、700W、1,200W とパワフルさも両立しています。

3 品番とも Ampeg 特有のオーバードライブ・サーキット「Super Grit Technology (スーパー・グリット・テクノロジー、SGT)」が搭載されており、ロック史にその名を刻むベースアンプの名機「SVT」シリーズと「B15」シリーズ特有の歪みを再現します。アンペグ伝統の BASS (低域)、MID (中域)、TREBLE (高域) の「3 バンド EQ」を備えていることはもちろんのこと、MID の周波数は任意の値に設定可能です。高周波域を増幅、低周波域を増幅・減衰させる「ウルトラ・ハイ/ウルトラ・ロースイッチ」も継承した他、『Venture V7』『Venture V12』には実用的なコンプレッサーも搭載しました。ユーザーインターフェースは直感的に操作できるようデザインされており、現代のベーシストが思い描く多彩な音作りを強力にサポートします。



Venture V12

2. 幅広い用途に対応する充実した入出力端子

オーディオプレーヤーやヘッドフォンと接続できる端子を備え、お気に入りの曲に合わせての演奏や、周りを気にすることなくいつでもどこでも好きな時に練習することが可能です。PA 機器や録音機器へダイレクトに接続できる「XLR ダイレクト・アウト端子」に加えて、『Venture V7』『Venture V12』にはプリアンプからの出力端子、パワーアンプへの入力端子も搭載されています。充実した入出力端子が、ベーシストのあらゆる演奏シーンに応えます。



Venture V12 リアパネル

3. シーンに合わせて選べるバラエティ豊かなキャビネット

『Venture』シリーズのキャビネットは、250W 出力の 12 インチスピーカー 1 台を搭載する『VB-112』から、『VB-115』(250W、15 インチスピーカー 1 台)、『VB-210』(200W、10 インチスピーカー 2 台)、『VB-212』(500W、12 インチスピーカー 2 台)、『VB-410』(600W、10 インチスピーカー 4 台) まで、5 品番をフルラインアップとして取り揃えました。スピーカー・ユニットには Lavoce 製ネオジウム・ウーファーとハイ・フリークエンシー・ドライバーを搭載。いずれも高い耐久性と軽量化(約 12kg~19kg)を実現しているため、持ち運びもしやすく、スタジオやライブなどあらゆる場面でご利用いただけます。さらに、『Venture』シリーズのベースアンプ・ヘッドと組み合わせれば、現代の多様なミュージックシーンに対応します。



Venture キャビネット

<製品仕様>

製品仕様の詳細は、製品サイトをご参照ください。

<https://ampeg.jp/>

<関連画像>



Venture V3

*文中の商品名、社名等は当社や各社の商標または登録商標です。

*掲載情報はすべて発表日現在のものです。発表日以降に変更となる可能性もありますので予めご了承ください。

■ 報道関係の方のお問い合わせ先

ヤマハ株式会社 コーポレート・コミュニケーション部 担当：川本

TEL. 03-5488-6605

ウェブサイト https://www.yamaha.com/ja/news_release/ (取材申し込みや広報資料請求が可能です)

■ 一般の方のお問い合わせ先

株式会社ヤマハミュージックジャパン お客様コミュニケーションセンター

Tel. 0570-056-808 (ナビダイヤル、全国どこからでも市内通話料金)
